

母親の再就職を応援します

高富児童館では、毎月ハローワークマザーズコーナーの担当者とのオンライン個別相談を行っています。

春から就職を考えている人や求職中の人、まだ先だけどそろそろと考えている人など誰でも受け付けます。また、育児休業中の人の復帰に向けての相談などもできます。

子連れでハローワークまで行くのは大変ですが、ここでならこどもを遊ばせながら、安心してゆっくりお話しできます。マザーズコーナーの担当者は、女性目線で話しやすいと評判です。

これまで相談では、「自分の条件に合う求人が見つかった」「不安だらけの再就職だったけど先が見えた」などの声があります。

ハローワークマザーズコーナー個別相談会

今後の予定	12月9日(火)、 令和8年1月13日(火)、 2月10日(火)、3月10日(火) (毎月第2火曜日)
時間	10時～14時(1人20分程度)
申込方法	直接来館するか電話、 InstagramのDM



2階遊戯室には求人票も置いてあります。

地域包括支援センターだより

閩南部地域包括支援センター TEL22-6886
閩北部地域包括支援センター TEL52-3340

～あの雪の日を思い出して～自分の備えを考えよう

令和7年2月の大雪では、地域によっては停電や断水、携帯電話の不通などが続き、寒い中でとても心細い思いをされた人も多かったのではないのでしょうか。市から水の配給などありましたが、「家から出られず、携帯もつながらず、寒くてつらかった」との声もありました。あの経験をきっかけに、今のうちから**自分の備え**を見直してみませんか。

【食料の確保】

飲み水を2～3日分ペットボトルで備える。
缶詰やレトルト食品もあると安心。

【暖房の確保】

カイロや毛布を手の届く場所に置く。昔ながらの石油ストーブも何かと重宝します。

【住民同士の助け合い】

日頃から、ご近所さんと「困ったときは声をかけ合おう」と話しておく。雪かきも無理しないで助け合おう。

【停電に備えて】

懐中電灯、電池、携帯充電器、モバイルバッテリーをまとめておく。

災害はいつ起こるか分かりません。ほんの少しの準備と、日ごろの声かけが大きな安心につながります。私たち地域包括支援センターも、皆さんと一緒に安心して冬を過ごせるまちをつくっていきます。



まちの保健室の紹介 ～働く人の健康を、まちと企業で共に守ります～

まちの保健室とは？

市民の皆さんと身近に関わりながら健康づくりのきっかけをつくることを目的に始めました。今年度は地域に出向き、健康測定や相談を行っています。企業にも出向いて実施しています。



▲出張まちの保健室の様子

取り組みの様子

働き世代の健康づくりを積極的に進めたいという思いを清流の国ぎふ健康経営宣言企業であるミズタニバルブ工業株式会社と共有し、初めての取り組みとして、お昼の休憩時間を活用しまちの保健室を開催しました。

会場では、従業員の和気あいあいとした雰囲気の中、互いに体組成計測定結果を見せ合いながら、現在の自身の筋肉量や脂肪量について話す姿が見られました。また「普段なかなか測る機会がないため、このような機会があると健康を意識できる」といった声もありました。

今後の取り組みと募集について

まちの保健室では、今後も地域や職場に出向き、皆さんの健康づくりをサポートしていきます。

まちの保健室を希望する企業・団体を随時募集しています。

健康介護課まで気軽に問い合わせてください。

忙しい毎日の中でも、自分の体を気にかける時間を大切にしよう。毎日のちょっとした気づきや習慣の見直しが将来の健康につながるよ。



▲鈴と御幣のジャグリング



▲柿野祭での奉納の様子

— 連 載 —

～先人から次世代へつなぐ～
わがまちの
歴史再発見

22 柿野獅子神楽
市重要無形民俗文化財

令和8年2月22日に山県市重要無形民俗文化財舞台公演会を開催します。そこで披露される文化財を紹介します。
生涯学習課文化財調査室 TEL3290008

美山地域の北東部、乾地区の柿野本郷に柿野獅子神楽という獅子舞が伝わっています。

柿野獅子神楽は、奉納芸の「悪魔つ祓い」の舞と余興芸の獅子芝居を伝えています。悪魔つ祓いは、「寄せ太鼓」から始まり、6つの舞を順に通して舞います。舞では、御幣と鈴でジャグリング(道具を投げて取る動作)をするなど曲芸的な所作が特徴的です。かつては雌と雄の獅子、2つの神楽がありましたが、現在は、雌獅子の頭をかぶる女性的な舞いを伝えています。

悪魔つ祓いが奉納される機会の一つが4月第2日曜日に行われる柿野祭です。祭礼行列が御旅所(おなびしょ)に到着すると悪魔つ祓いと山車のからくり芸が奉納されます。この山車は市唯一の有形民俗文化財に指定されており、祭りの際に御旅所でのみ見ることが出来ます。

現在は、奉納神楽を担っていた神楽組が名を変え、柿野獅子神楽保存会として活動しています。柿野本郷に伝わる貴重な民俗文化財に皆さんも触れてみませんか。興味がある人は問い合わせてください。